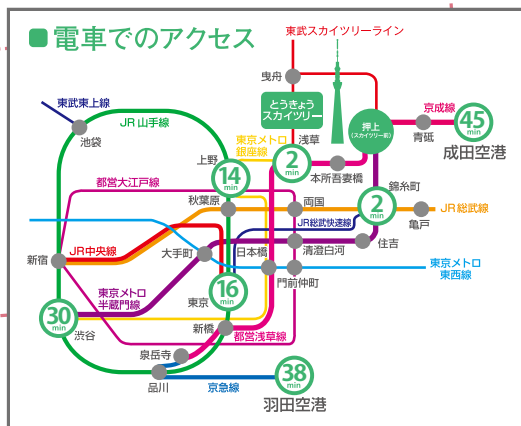
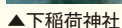
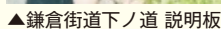




Vol.16 発行：2019年3月 墨田区／一般社団法人 墨田区観光協会

すみだ  
まち歩き  
博覧会

鐘ヶ淵  
KANEGAFUCHI



鎌倉街道下ノ道 説明板  
隅田川神社  
正福寺  
木母寺  
圓徳寺  
多聞寺



古来よりこの地域には重要な街道があり、その周辺には数々の名所・旧跡がありました。「かの時代に」に想いを馳せ街を歩けば多くの言い伝えに出会える、そんなまち歩きはいかがですか？



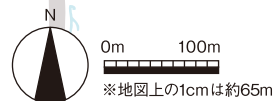
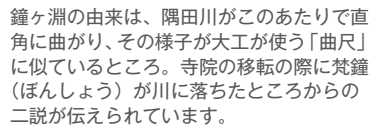
鎌倉と下総・上総を結ぶ道は古くから「鎌倉街道下ノ道」と呼ばれていました。源頼朝が常陸国の佐竹氏討伐や奥州征伐に使用したといわれています。郷土の歴史を知る上では欠かせない道すじです。



亀に乗った水神が浮州に上陸し、隅田川総鎮守の神となったとされています。水神社とも呼ばれ、狛犬ならぬ狛亀が左右に鎮座しています。



東向島蓮花寺の末寺。参道に、都内最古のものといわれる  
板碑が立てられています。これは宝治2（1248）年の銘  
があり、付近の御前栽畑から出土したと伝えられています



**凡例**

-  博物館／小さな博物館
-  工房ショップ
-  観光案内所
-  街あき案内処
-  ホテル
-  トイレ
-  名所・史跡・公共施設
-  会社
-  警察署・交番
-  郵便局
-  神社
-  寺院
-  学校
-  消防署
-  相談部屋

 墨田区内循環バス

 「すみだ百景 すみまるくん・すみりんちゃん」



今の東白鬚公園一帯は、平安時代末期より、古東海道の渡河地であり旅人が利用する宿として栄えました。また1180年に源頼朝が布陣した宿としても伝わっています。現在は、桜や季節の花々が咲くなかを歩くウォーキングコースとしても人気です。



まち歩きには墨田区内循環バス「1日乗車券(300円)」も便利!バス車内で購入できるほか、産業観光プラザ すみだ まち処、吾妻橋観光案内所、両国観光案内所等でも販売しています。



古代東海道と呼ばれる東西に貫くこの街道は、9～10世紀ごろ定められました。「伊勢物語」東下りのなかで在原業平が「名にしほほ、いざ事とは、宮こ鳥わがおもふ人はありやなしや」と詠ったとされる場所は、古代東海道、隅田川の渡河点あたりだといわれています。



江戸時代、木暮寺境内には「隅田川御殿」と呼ばれる徳川将軍家の御殿がありました。そして、謡曲「隅田川」などにうたわれ、小説にもなっている「梅若伝説」ゆかりのお寺です。平安時代半ば、京都から人買いに連れ去られ、隅田川のほとりで12年の生涯を閉じた梅若丸と、我が子を探し歩き、その死を知る母の花御前。2人を供養したお寺が梅若寺であり、現在の木暮寺です。現在も命日の4月15日には梅若忌として法要が行われています。



華やかな朱の山門が目立つ曹洞宗の寺院で、赤門寺とも呼ばれています。三猿を彫り出した台座に乗り、舟形光背を持つ庚申阿弥陀立像は墨田区の指定文化財です。この地域では「庚申待」という一夜を寝ずに夜を明かす行事もありました。



茅葺の山門は、江戸時代中期に造られた区内最古の建造物です。関東大震災、戦災での消失を免れたため、昔日の面影を残してます。また「妖怪怪伝説」とともに狸塚が今も残っており「たぬき寺」とも呼ばれ親しまれています。